

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

鴨生田ふえありいのおうち

今回、第三者評価に参加させていただき、ありがとうございました。
北九州市という組織が子どもの育ちの場である保育の場に直接かわり、保育の質の向上を応援し、この第三者評価の参加を呼び掛けていただいているのは、とても有難いことだと思っています。この機会があることに感謝します。

当事業所は、平成29年に鴨生田保育園に隣接する戸建てを改造し開園した小規模保育所です。第三者評価は、5年目を目途に参加を考えていました。
職員も園からの異動で理念や保育内容等基本的なことは理解できているものの、私自身も含め第三者評価未経験者もいるので、再度視点を統一して見直す良いきっかけになりました。

乳児期の重要性が言われる中、新型コロナウイルス感染症の発生もあり子ども達を取り巻く環境や動きは大きく変化しました。対応はこれで大丈夫だろうかという不安もありました。不得意な書類や弱い部分があり、どうしたらいいのかという思いも持っていました。この参加でご指導いただこうと思ったのも事実です。

小規模保育所は少人数の為、職員間の連携共有、意思疎通はしやすい方だと思っています。それでも、第三者評価に向けて書類整理や自己評価等する中で、考え方や文章の理解の違いを改めて感じ、お互いに一つ一つ項目別に確認し意見を出しあい見直せたこと、他者の思いが理解把握できたことはとても良かったです。
変わらないもの、変えていかなければいけないもの、しっかり見極めながら今後の保育につなげていきたいと考えています。

今回、私たちの思いや動きの中で、意識なくやっていたところも認められ、大きな喜びや安堵となりました。また子どもたちの為に頑張ろうと意欲向上にもなりました。アドバイスいただいた部分は、もがいていた不安部分に道が出来ました。
参加は、通常保育にプラスの動きがあるので大変ではありましたが、点稼ぎの参加や評価と考える事、少しでもいい保育にするための見直しであること、各自の自己研鑽の時間であることをきちんと職員間で共有し取り組みました。

保育の場は、保育の質の向上、保護者支援、地域との連携等求められるものは多く重なりがちですが、こどもまんなか保育で今後も職員一同楽しく保育に励んで進化していく保育に取り組んでいきたいと思えます。終わったではなく新たな始まりです。ありがとうございました。